



【城見町】
明珍作
うこん威甲冑一領

◎県指定有形文化財
箏曲「六段の調」発祥の地である慶巖寺には、諫早家の家宝として伝わる甲冑の宗家、増田明珍作の鎧冑が納められています。この鎧冑は日本を代表する工芸品として、明治43年(1910)ロンドンでの日英博覧会に出品されました。



歴史
いさはや
めぐり

諫早市の
歴史・文化遺産

先人たちの
知恵と工夫が
今もなお息づいている



【高城町】
眼鏡橋

◎国指定重要文化財

「いさはやのめがねばし、いきもどりすればおもしろかなり。」とかぞえ唄で親しまれている眼鏡橋は、天保10年(1839)に架橋されました。当時の領主・領民が永久不壊の願いを込めてそれまで大きな橋がなかった本明川に架けた石造りのアーチ橋。諫早水害の後で公園内に移設されています。昭和33年11月29日、石橋では日本で最初に重要文化財に指定されました。



【富川町】
大雄寺の五百羅漢

◎県指定史跡

諫早領主7代茂晴公が水源の地・富川溪谷の岩壁に、領内の息災と天下の泰平を祈願し、また水難者供養のため五百羅漢を刻みこんだと伝えられています。

【高来町】
和銅寺の十一面観世音菩薩立像

◎県指定有形文化財

六十年に一度開帳される秘仏。肥前七観音の一つとされています。引き締まった容貌や美しい素木仕上げは、県内の十一面観音像のなかでも代表的なものです。



【多良見町】
琴尾山烽火台跡

◎県指定史跡

長崎・大村・平戸を結ぶ中継点として烽火台が設けられました。文化6年(1809)以後は烽火台を廃し飛脚をもって通報することになりました。烽火台の遺構は三つの火入口などよく原形をとどめています。



【小川町】
女夫木の大スギ

◎国指定天然記念物

樹齢・大きさ・樹容・保存の状況などが優れているとして、国の天然記念物に指定されました。高さ約32m、目通り幹廻り9mを測る巨木です。



【飯盛町】
旧小川家住宅主屋・石垣

◎国登録有形文化財

小川法民氏が、大正9年に小川医院の主屋として建てた家屋。自然石を積み上げた石垣と家屋の堂々とした外観は、古くから地元で親しまれています。



【森山町・森山西小学校グラウンド内】
森山西小学校のアベマキ

◎県指定天然記念物

幹まわりは地上55の高さで3.65m、樹高は約17mです。ブナ科の落葉高木で、クヌギに近く、稀に見る巨樹です。幹は直立し、樹皮は黒灰褐色、花期は4~5月で、葉の開く前に花が咲きます。

オガタマノキとしては、日本一と言われる幹周り9.1m、樹齢1000年以上の巨樹。2月から4月にかけてやや紫色を帯びた白色の花をつけ芳香を放ちます。昭和26年に国の指定を受けた天然記念物です。



【西小路町】
諫早家墓所

◎県指定史跡

天祐寺境内にあり、諫早家初代家晴公より18代家興公までの墓碑や「弥勒四十九院」造りと呼ばれる形式の墓碑を囲む石柵があり、江戸時代の墓地形式を留めている貴重な史跡です。

